



小樽双葉進路だより

進路指導部

令和6年6月10日

第10号 発行

大学進学を目指している人へ!

中間考査お疲れ様でした。今日から、考査の答案が返ってくるので、ソワソワしている人もいるのでしょうか。「考査が終わったから、次は〇〇だー」(〇〇には好きな言葉を入れましょう!)と色々と考えていると思いますが、**本気で大学進学を目指している皆さんには、〇〇に是非、「進研模試」を入れてほしい**と思います。

【進研模試って?】

進研模試(1, 2年生のうち「総合学力テスト」と呼ばれるテスト)とは、ベネッセが主催している模擬試験です。定期考査との違いは次の2つです。

- ① 毎回、**平均点が100点満点で30点~40点**となるテスト → 定期考査よりも**ちょっと難しい**
 - ② 試験範囲は**模試までに学習した範囲すべて**(中学範囲を含む) → 学年が上がる毎に範囲が広がり、**難易度上昇**
- また、進研模試は、定期的に行われています。**定期的に受験することで、自分の学力の推移**を見ることができます。



- ・ 1年生: 7月、11月、1月
- ・ 2年生: 7月、11月、1月、2月
- ・ 3年生: 4月、6月、7月、9月、10月、11月

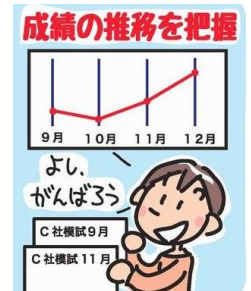
【大学進学と進研模試はどんな関係が・・・?】

データ① 令和6年1月の「大学入学共通テスト」受験者数⇒約49万2千人

(ちなみに、令和5年度の**全国の高3生の人数**⇒約97万人)

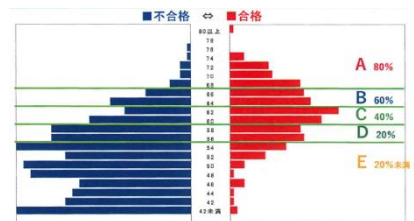
データ② ベネッセの総合学力テスト1年生7月受験者数⇒約45万6千人

これらのデータから、**大学受験する人の大半がベネッセの総合学力テスト=進研模試を受験している**ことがわかります。つまり、進研模試を受験すると、**日本中の受験生の中で、自分がどの順位にいるか、志望校合格可能性はどのくらいか**がわかるということです。



【進研模試を受験するのはなぜ?】

進研模試を受験する目的は**3つ**です。



目的① 「既習範囲の復習」

進研模試はすでに学習した範囲すべてが試験範囲ですから、**模試受験前には、これまで学習した範囲を復習する必要があります**。「進研模試をきっかけに復習をしっかりする」ことが、進研模試を受験する大きな目的です。

目的② 「“目標” と “現在の自分の位置” との差の確認」

進研模試を受験すると、自分の偏差値とGTZ(=学習到達ゾーン)がわかります。**偏差値・GTZは、全国の受験生の中で自分がどの位置にいるかを示す物差し**です。ベネッセでは日本中の大学の合格目安となる偏差値・GTZを公開しており、「志望校の偏差値・GTZ」と「自分の偏差値・GTZ」との差がわかります。この差を定期的に確認しながら、**どんどん縮めていくために、定期的に進研模試を受験**します。



目的③ 「自分の“弱点”の確認とその克服」

進研模試を受験すると、**わからなかったり間違ったりした問題がたくさんある**ことがわかります。**この“わからなかった問題”・“間違った問題”が、現時点の自分の学力的“弱点”**です。進研模試の受験後に、この“わからなかった問題”や“間違った問題”を徹底的に復習して、“わかるように”・“できるように”なることで、自分の“弱点”を克服できます。

次号は模試に向けた**準備**についてです。**大学を目指す人、進研模試を、自分を高める気持ちを持って受験しよう!**